

高校生が 仲間と共に 創り上げる イベント

～公益社団法人 東京青年会議所の「10代の挑戦」プロジェクト～

<http://www.tokyo-jc.or.jp/teenschallenge/whatsfestival.html>

都内の高校生が、所属する学校を越えて集まり、知恵を出し合いながら、企画、開催までの準備、当日の運営、本番のパフォーマンスまでの全てを自分達で行うイベント「10代の挑戦」を開催しました。

このイベントは、高校生達に主体的にイベントを創り上げるといった体験の機会を提供することで、夢を持ちにくい現代に生きる10代の若者に、社会と自己の可能性を感じてもらい、その社会の中に存在する自分という事を認識し「やればできる」という挑戦意欲を掻き立ててほしいと、「公益社団法人 東京青年会議所」(以下東京JC) ※1が企画したものです。

東京JC「10代の挑戦特別委員会」理事・委員長の堀口さんに伺った高校生達の挑戦の軌跡を紹介します。

① イベント準備

不安な船出 堀口さんは、今の高校生の興味関心などを知るために、3人の高校生に声をかけました。高校生から、やりたいこと・やったら面白そうなことなどを聞き、最後に「それらを実現できる企画と一緒にやってみない?」と持ちかけたことが、イベントの始まりでした。後にスタッフの中心となるこの高校生も、初めのうちは「本当に人が集まるのか?」「何をしたらよいかわからない。」と不安でいっぱいだったといいます。



初顔合わせ

仲間を集める イベント成功に向けて、まず、高校生達が行ったのは、共に企画・運営を行う仲間を集めることでした。知人・友人などに声をかけ、口コミでスタッフを集めていきましたが、なかなか集まらず、苦労したそうです。後に、ブログやSNSでの募集も始め、このイベントがなければ関わることのなかった多くの高校生が集まりました。



実行委員会

イベントを知って欲しい 出演者募集のチラシ・HPがついに完成。人通りの多い駅前などで、配り始めますが、初めのうちは、1箇所数十枚しか受け取ってもらえなかったといいます。しかし、あきらめずに配り続けた結果、8月の立川では300枚の配布に成功したそうです。

「心折れずに何度も配りに行った甲斐があったな、と思いました。」(「10代の挑戦」ブログより)
ブログによる広報活動も当初は1週間に1回の更新だったものが、直前には1時間に1回のペースになっていました。



ファッションショーリハーサル

本番出演をかけた選考会 北沢タウンホール(世田谷区)で、書類選考を通過した高校生パフォーマーによる選考会が行われました。クオリティの高いパフォーマンスが披露され、本番への期待が高まっています。

スタッフも今日までの準備の成果を発揮し、本番さながらの運営ができ、本番に向けての雰囲気をつかむことができました。

② イベント「10代の挑戦」当日 【日時】平成23年9月23日(祝) 【場所】としまえん屋内館

3人の高校生から始まったイベントは、1,600人を集める大イベントへ。高校生スタッフも60人になりました。

【プログラム】

I パフォーマンス

選考を通過した①ダンス、②お笑い、③パフォーマンス(例:アカペラ、ジャグリングetc)の各部門3組、計9組の高校生パフォーマーがパフォーマンスを披露しました。

パフォーマー感想

- 人がカバーしにくい曲をあえて選んだのは、それこそ「挑戦」したかったからです!
- 挑戦する意欲さえあれば、なんでも出来るんだと、身をもって理解できました。同時に大人や仲間頼らなければ、実現できないことだらけなのだと思わされた。

II ファッションショー

参加申込みをした都内在籍の高校生が、事前に宮崎 京さん(2003ミス・ユニバース・ジャパン)の指導のもとウォーキングレッスンをし、会場で宮崎さんと共にファッションショーを行います。本番では、二次審査後もウォーキング指導を繰り返していただいた成果を発揮し、一人ひとりが主役となり、ショーを盛り上げました。

III トークセッション

本イベントに挑戦した高校生出演者とスタッフの中から選ばれた数名の代表が、宮崎京さん、伊藤 隆行さん(テレビ局プロデューサー)と「挑戦」をテーマに、トークセッションを行いました。今回の挑戦を踏まえ、先輩達の経験を直接聞きたまいたい機会となりました。

当日(エンディング)



(運営スタッフ感想)

- 自分でやらなきゃいけないと思うようになった。これまでは、見る側だったけど、そういう責任感が出てきました。
- 自分が良いと思ったことを、人に伝え、巻き込んでいく難しさを知りました。
- 色んなものに参加していくハードルが下がった。
- 良い経験になりました。物事を進めていく過程の重要性をあらためて認識しました。

③ 東京JC「10代の挑戦特別委員会」理事・委員長 堀口さんからのコメント

2011年 東京青年会議所におけるスローガン「未来への礎～未来を語り実現できる社会に～」を体現するべく、10代の若者を主として作り込みを行いました。

初めは我々や他の参加者に対して本音が出せずに顔だけでしたが、当日の内容が明確になるにつれ何をしたらいいのかが具体的に見えてきた時から発言が変わってきました。そして、何より表情が格段に変わりました。本気になった若者は大人にはない団結力と発信力と何より無限の可能性を見つけてくれました。

「僕たちの挑戦は終わりません」と叫んだ若者達はこの国の宝です。

※1 東京青年会議所は、次代の担い手としての青年(25歳～40歳)が集い、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、市民・企業・行政・諸団体と連携しながら、様々な活動を行っています。子供たちの教育活動に、企業・大学・NPO等の専門的な教育力を効果的に導入するためのネットワークづくりを目指し、東京都教育委員会が設置しているネットワーク組織「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」の会員でもあります。【URL】<http://www.tokyo-jc.or.jp/2012/>